



平成 25 年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 10 月 5 日

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所 東
 コード番号 2659 URL <http://www.san-a.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地 哲誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 諸見 明良 (TEL)098(898)2230
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 10 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 2 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 2 月期第 2 四半期	74,881	0.5	5,223	△7.7	5,363	△7.0	3,088	△12.3
24 年 2 月期第 2 四半期	74,472	3.2	5,657	11.9	5,769	11.1	3,523	16.1

(注) 包括利益 25 年 2 月期第 2 四半期 3,256 百万円 (△12.2%) 24 年 2 月期第 2 四半期 3,710 百万円 (ー%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25 年 2 月期第 2 四半期	193	25	—	—
24 年 2 月期第 2 四半期	220	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 2 月期第 2 四半期	97,051	71,447	71.6
24 年 2 月期	92,781	69,300	72.4

(参考) 自己資本 25 年 2 月期第 2 四半期 69,460 百万円 24 年 2 月期 67,152 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24 年 2 月期	—	0.00	—	47.00	47.00	—
25 年 2 月期	—	0.00	—	—	—	—
25 年 2 月期(予想)	—	—	—	47.00	47.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 2 月期の連結業績予想 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	151,787	4.0	10,413	△0.8	10,701	0.0	6,067	△3.4	379	66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	15,990,827株	24年2月期	15,990,827株
25年2月期2Q	8,869株	24年2月期	8,869株
25年2月期2Q	15,981,958株	24年2月期2Q	15,981,984株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成24年10月10日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年8月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災による影響から持ち直しがみられるものの、欧州の債務危機や円高の長期化による影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は経営方針を「情報のキャッチボール」とし、お客様のニーズや価値観の変化、社会の変化に気づき、社員一人ひとりが主体性をもって相互に発言することが人材育成や業務改善に繋がると考え、企業理念の浸透、七大基本（クリンリネス、鮮度と味、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示）の徹底、既存店の活性化、効率化を図るとともに商品力の強化、効率的な情報システム開発、人材力の強化を行い、お客様満足度の向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、7月に「宜野湾コンベンションシティ（GMS）」（沖縄県宜野湾市）を新規出店いたしました。

販売の状況につきましては、ワンランクアップ商材の拡充や、旬・行事・季節商材の早期展開等に取り組ましましたが、天候要因（梅雨・台風）の影響や、昨年の地上デジタル放送完全移行による需要等の反動で家電商品が大幅に落ち込んだことにより、既存店売上高前年同期比は2.8%減となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益（売上高及び営業収入）は748億81百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は52億23百万円（前年同期比7.7%減）、経常利益は53億63百万円（前年同期比7.0%減）、四半期純利益は30億88百万円（前年同期比12.3%減）となりました。なお、前年同期は退職給付制度改定益4億32百万円を特別利益に、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億87百万円を特別損失に計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して42億70百万円増加し、970億51百万円となりました。主な要因は、売掛金が6億37百万円、商品及び製品が7億27百万円、有形固定資産が28億29百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して21億22百万円増加し、256億3百万円となりました。主な要因は、買掛金が25億39百万円増加したことと、未払金が4億90百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して21億47百万円増加し、714億47百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が23億37百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より68百万円減少し、211億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は55億17百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益53億59百万円の計上、仕入債務の増加25億39百万円、法人税等の支払額23億16百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は40億92百万円（前年同期は47億54百万円の獲得）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出40億17百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は14億93百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出2億92百万円、配当金の支払額7億48百万円、少数株主への配当金の支払額3億57百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月11日付の平成24年2月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,188	21,120
売掛金	1,336	1,973
商品及び製品	8,798	9,525
原材料及び貯蔵品	184	207
その他	2,051	2,231
流動資産合計	33,559	35,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,491	22,571
土地	25,470	25,470
その他（純額）	5,347	3,097
有形固定資産合計	48,309	51,139
無形固定資産		
のれん	1,270	1,188
その他	325	318
無形固定資産合計	1,595	1,506
投資その他の資産	9,316	9,347
固定資産合計	59,221	61,993
資産合計	92,781	97,051
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,684	9,223
1年内返済予定の長期借入金	585	585
未払法人税等	2,311	2,167
賞与引当金	897	1,135
商品券等回収損失引当金	24	23
その他	6,586	6,165
流動負債合計	17,089	19,300
固定負債		
長期借入金	1,231	939
退職給付引当金	1,570	1,613
資産除去債務	337	341
その他	3,251	3,409
固定負債合計	6,391	6,303
負債合計	23,480	25,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	59,679	62,016
自己株式	△25	△25
株主資本合計	67,063	69,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	59
その他の包括利益累計額合計	88	59
少数株主持分	2,147	1,986
純資産合計	69,300	71,447
負債純資産合計	92,781	97,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	70,768	70,946
売上原価	49,300	49,326
売上総利益	21,467	21,619
営業収入	3,704	3,935
営業総利益	25,171	25,554
販売費及び一般管理費		
給料	6,394	6,781
賞与引当金繰入額	1,298	1,135
退職給付費用	122	112
役員退職慰労引当金繰入額	10	—
減価償却費	1,301	1,398
のれん償却額	81	81
その他	10,304	10,821
販売費及び一般管理費合計	19,514	20,330
営業利益	5,657	5,223
営業外収益		
受取利息	32	22
受取配当金	8	8
債務勘定整理益	26	22
その他	76	114
営業外収益合計	144	169
営業外費用		
支払利息	22	16
商品券等回収損失引当金繰入額	6	5
その他	3	7
営業外費用合計	32	29
経常利益	5,769	5,363
特別利益		
退職給付制度改定益	432	—
特別利益合計	432	—
特別損失		
固定資産除却損	1	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	187	—
減損損失	1	0
特別損失合計	189	3
税金等調整前四半期純利益	6,012	5,359
法人税、住民税及び事業税	2,429	2,175
法人税等調整額	△136	△100
法人税等合計	2,293	2,074
少数株主損益調整前四半期純利益	3,719	3,285
少数株主利益	196	196
四半期純利益	3,523	3,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,719	3,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△28
その他の包括利益合計	△9	△28
四半期包括利益	3,710	3,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,514	3,059
少数株主に係る四半期包括利益	196	196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,012	5,359
減価償却費	1,301	1,398
のれん償却額	81	81
固定資産除却損	1	3
減損損失	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	420	237
受取利息及び受取配当金	△41	△31
支払利息	22	16
退職給付制度改定益	△432	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	187	—
売上債権の増減額(△は増加)	△388	△637
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200	△750
仕入債務の増減額(△は減少)	1,915	2,539
未払金の増減額(△は減少)	△517	△525
預り金の増減額(△は減少)	293	244
その他	△43	△102
小計	8,613	7,834
法人税等の支払額	△2,084	△2,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,528	5,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,000	—
有形固定資産の取得による支出	△952	△4,017
投資有価証券の取得による支出	△300	—
利息及び配当金の受取額	42	22
その他	△35	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,754	△4,092
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△292	△292
利息の支払額	△21	△16
リース債務の返済による支出	△60	△77
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△668	△748
少数株主への配当金の支払額	△90	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△1,493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,149	△68
現金及び現金同等物の期首残高	12,336	21,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,485	21,120

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。